



矢板市教育長から社会参加章の賞状を受ける海瀬元之さん

府政政調第 480 号 - 3
令和 4 年 8 月 1 日

公益財団法人

あしたの日本を創る協会 代表者 殿

内閣府政策統括官（政策調整担当）

令和 4 年度「エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」の
紹介事例の決定について（通知）

高齢社会対策の推進につきましては、日頃より格別なる御高配をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、令和 4 年度のエイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動の事例紹介につきましては、令和 4 年 1 月 6 日付け府政政調第 2 - 2 号により推薦をお願いしたところですが、おかげをもちまして全国からエイジレス・ライフ実践事例 82 件、社会参加活動事例 52 件という多数の推薦（別添 1 「「エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」推薦状況及び決定状況」参照）がございました。これもひとえに貴団体の皆様の積極的な取組によるものと感謝しております。

エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例の選考につきましては、「令和 4 年度「エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」選考委員会」（別添 2 「選考委員会委員名簿」参照）を開催し、別紙 1 「令和 4 年度エイジレス・ライフ実践事例一覧」及び別紙 2 「令和 4 年度社会参加活動事例一覧」のとおりエイジレス・ライフ実践事例 55 件、社会参加活動事例 40 件を決定いたしましたので通知いたします。

（照 会 先）

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1

中央合同庁舎第 8 号館 8 階

内閣府政策統括官（政策調整担当）付

高齢社会対策担当 米丸、吉岡、磯野、武田

TEL 03-6257-1462（直通）

FAX 03-3581-0902

エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例の紹介事業実施要領

平成 25 年 2 月 15 日
内閣府政策統括官（共生社会政策担当）決定

1 目的

本要領は、「エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例の紹介事例実施要綱」（平成7年9月8日総務庁長官決定）6に基づき、事業の実施に関し必要な事項を定めることにより、高齢社会における生き方の例として、高齢者がエイジレス・ライフを実践している事例及びグループ等で就業や、地域社会活動、世代間交流などの社会参加活動を積極的に行っている事例を一般に対して広く紹介し、既に高齢期を迎え、又はこれから迎えようとする世代の生活の参考に供することを目的とする。

2 紹介事例の具体的類型

エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例（以下「紹介事例」という。）の対象となる具体的類型は、以下のとおりとする。

(1) エイジレス・ライフ実践事例として紹介する個人（以下「実践者」という。）

- ア 過去に培った知識や経験をいかして、それを高齢期の生活で社会に還元し活躍している。
- イ 自らの時間を活用し、近所付き合いや仲間うちなどでの支え合い活動に積極的に貢献している。
- ウ 中高年から一念発起して、物事を成し遂げた。
- エ 壮年期において達成した地位や体面などにとらわれることなく、高齢期を新しい価値観で生き生きと生活している。
- オ 自らの努力、習練等により、優れた体力・気力等を維持し活躍している。
- カ 地域社会の中で、地域住民のリーダーやコーディネーター的な役割を發揮し、生き生きと生活している。
- キ その他、広く全国で紹介することがふさわしいと認められるもの。

(2) 社会参加活動事例として紹介するグループ、団体等（以下「グループ等」という。）

- ア 支え合い活動（若者へのカウンセリング、子育て支援、高齢者の見守りなど）
- イ 趣味
- ウ 健康、スポーツ
- エ 生産、就業（起業を含む。）
- オ 教育、文化
- カ 生活環境改善
- キ 安全管理
- ク 福祉、保健
- ケ 地域行事、自治会
- コ その他、広く全国で紹介することがふさわしいと認められるもの。

3 紹介事例の選考手続き

(1) 都道府県、指定都市及び中核市並びに高齢者関連団体は、上記2に掲げる紹介事例の具体的類型に該当する事例を広く募集し、活動内容等を確認した上で、紹介事例の候補として内閣府に推薦するものとする。

指定都市及び中核市以外の市区町村は、活動内容等を確認した上で、都道府県を通じて、紹介事例の候補を内閣府に推薦するものとする。

(2) 内閣府は、(1)により推薦された紹介事例の候補について選考を行い、紹介事例を決定する。

4 紹介の方法

(1) 内閣府は、紹介事例について広報啓発活動を行うとともに、紹介事例を推薦した都道府県、指定都市及び中核市並びに高齢者関連団体に対して、内閣府と連携した広報啓発活動の実施を呼び掛ける。

(2) 内閣府は、紹介事例を推薦した都道府県、指定都市及び中核市並びに高齢者関連団体の協力の下に、その紹介事例の実践者及びグループ等の活動状況等について取材し、その一部については内閣府が主催する行事において、実践者及びグループ等の代表者の出席を得て紹介するものとする。

5 書状及び記念品の授与

(1) 内閣府は、上記4の(2)の内閣府が主催する行事に出席する実践者及びグループ等に対し、書状を交付するとともに記念の楯を授与する。

(2) (1)以外の実践者及びグループ等に対しては、その事例を推薦した都道府県、指定都市及び中核市並びに高齢者関連団体を通じて伝達するものとする。

令和4年度社会参加活動事例(合計40事例)

(別紙2)

道し番号	活動地域	(ふりがな) グループ等の名称	事例区分	活動内容
1	北海道 札幌市	NTT労働札幌退職者の会 ボランティア「ユーマット」	1	高齢退職者ができる活動、身近で無理なく行動できるものとして視覚障害者に対する日常外出時の手引き誘導のボランティア活動から始めた団体である。活動の幅が広がり、札幌市で開催する全国規模イベントに来られる視覚障害者の方々の外出時の誘導支援や、「はまなす全国車いすマラソン大会」での大会当日のバス移動支援、コースでの協賛支援、カレンダーリサイクル市、皇親の会からの託児(子守り)ボランティアなどにも協力している。コロナ禍で全国的なイベントは減少しているが、リングブル収集(車いすを寄贈)、古切手収集、盲導犬協会の募金活動への参加など個人でもできる活動を中心に行っており、地域社会づくりに貢献している。
2	腎臓県 むつ市	むつ市生活介護サポーター 道路協議会 「りんどうの会」	6	市主催の生活・介護支援サポーター養成講座を修了した有志で結成したボランティア団体が、高齢者の健康増進や生きがいづくりに取り組んでいる。「寝たきりになるまい させまい まず運動」をキャッチフレーズに、介護予防運動教室を下北地域3ヶ所で毎週定期的に行っている。住民の閉じこもり予防と地域のコミュニティづくりに貢献し、地域の元気を盛り起している。「地元元気を地元の人間がつくる」という、超高齢化時代の理想の地域の在り方を旨とする活動は10年目を迎え、コロナ禍にあっても継続的に活動している。
3	岩手県 紫波郡紫波町	特定非営利活動法人 古蹟まちづくりの会	1	地域コミュニティの活性化を図るため令和元年6月に結成された。社会教育施設である地区公民館の機能を維持しつつ、地域課題解決の拠点として発展・活用している。 地域の困りごとを解決するためのミニ相談窓口や人財バンク、団体サポート事業の実施や、地域防災に特化した防災ポータルサイトの運営及びサイト上での防災訓練の実施など活動は多岐にわたる。 また、地域住民の居場所づくりに力を入れており、放課後児童の学習サポート、異世代間交流となる「みんなの茶の間サロン」の運営を行う。 令和元年には地区住民全員へアンケート調査を実施。結果の分析を行い、地域課題の整理・改善にも取り組んでいる。
4	山形県 南陽市	郡山若松会	9	昭和35年に結成してから62年間継続して活動しており、「うたごえ喫茶」の開催や花壇の花植え等の社会参加活動を行い、地域福祉に貢献している。 新型コロナウイルス感染症により、活動回数や参加人数が減少したものの、オンラインを積極的に活用し、「うたごえ喫茶」を継続するとともに、新たに市内の老人福祉施設や県外老人クラブとのリモート交流、県内の大学と連携したオンライン講座を実施するなど、コロナ禍でも工夫しながら活動を行っている。
5	茨城県 水戸市	吉田地区高齢者クラブ 交流会	3	創立以来「健康・友愛・奉仕」の活動を基本とし、知識や経験を活かして生きがいと健康づくりのために多様な社会活動を行っており、「高齢者と子どものふれあい」活動は15年間継続し、普通びや風物づくり、戦争体験を伝えることで地域特有の技術や文化の伝播だけでなく、地域環境の良さや平和の尊さを伝え、未来に託す役割を担っている。 また、地域とも連携しながらクラブ活動を積極的に行い、多世代地域貢献活動に取り組んでいる。

1/8

6	栃木県 大田原市	ジャガイモ仲間会	1	地域住民の自発的な集まりにより結成されたグループであり、野菜作りを中心に、高齢者の生きがいづくりや居場所づくり、社会参加の機会を提供などを行っているほか、地域の生活困窮家庭が作る野菜の販売支援や、見守り活動、障害者の居場所づくりといった福祉活動にも積極的に取り組むなど、幅広い活動により、多様な地域課題解決に貢献している。
7	栃木県 矢板市	創年大学ぶらぶらクラブ	3	平成21年度矢板市ふるさと創年大学の修了生により、行政との協働によるまちづくりを実施することを目的として結成されたグループである。学校支援ボランティアや秋祭りなどの企画運営、地域子ども会等で普遊びを通しての世代間交流イベントや、マラソン大会等のスポーツボランティア、河川や生涯学習館周辺の草刈り作業など、10年以上の活動実績を重ねており、特に小・中学校の授業の運営においては必要不可欠な存在であり、まちづくりや地域おこしに大いに貢献している。
8	群馬県 前橋市	ひまわり楽団	10	群馬県警察音楽隊OBにより結成されたバンドで、県内の高齢者施設や公民館、いきいきサロン、高齢者のイベント等において、主に高齢者、その家族向けの歌謡曲、童謡やメンバーが作曲した防犯ソング等を演奏する参加型コンサートを開催している。演奏の合間には「特殊詐欺被害防止」「ミニ交通安全講話」等を行い好評を得ている。コンサートを通じて「安全安心まちづくり、交通安全等のボランティア活動」を行い、平成13年以降21回のコンサートを実施している。
9	埼玉県 さいたま市	大宮レクリエーション指導者協議会	10	昭和58年に日本レクリエーション協会公認指導者資格を取得したメンバーを中心に大宮レクリエーション研究会を立ち上げ、昭和59年に大宮レクリエーション指導者協議会へ改称し、行政とともに市民の健康増進・余暇の有効活用の支援等で普及活動を継続している。「大宮親子のつどい」「スポーツフェスティバル」等の行政行事にも貢献している。 近年では、運動の苦手な人でも楽しめる「健康スポーツ広場」の普及に力を入れ、自主クラブが立ち上がるまで成長している。コロナ禍の影響により、事業の実施が難しい状況が続いたが、感染防止に努めながら、事業を継続的に実施している。
10	埼玉県 白岡市	白岡2山行政区会 山の公園企画運営部会	4	山の公園企画運営部会は、空地となっている私有地を借り受け、地域の公園として活用することを目的とし、結成されたグループである。活動は約10年にわたり、雑木林を開墾した「山の麓の森公園」と元栗畑を登地した「山の広場」を登場させた。これらの公園には花壇や小農場などが設置された。自前で掘った井戸を設置したり、定期的に草刈りをしたり、当会活動は一時避難場所としての機能維持や地域交流の発展に貢献している。

2/8

11	千葉県 船橋市	とくいでいりえいりかつかつほうじん 特定非営利活動法人 コミュニティサロン・あまやどり	6	高齢者・障害者並びに地域住民に対して、自立支援に関する活動・事業を行い、地域福祉の推進に寄与することを目的として、毎週月～金の10時～18時にサロンを開催している。この間、サロン内に準備してある読者の読書棚でお茶を飲みながら雑談ができるほか、同好のメンバーで日時を決め、歌声サロン、布草履教室、マクラメ教室、漆手紙サークル、パッチワークサークル、折り紙サークル、詩吟サークル、スマホ教室、健康塾、PC教室、麻雀教室などを新型コロナウイルス感染症対策を行いながら開催している。気楽に立ち寄れるサロンを目指し、地域福祉の推進に貢献している。
12	千葉県 木更津市	房総の地域文化を学ぶ会	3	地域の公民館講座を修了した受講生が精進となり、平成25年12月に「房総の地域文化を学ぶ会」を完成し、房総の歴史や伝統、自然などを学び、調査研究を行い地域社会の理解を深め、市民と共に房総の地域文化の発掘、発展に努めている。また、毎月1回歴史研究家などに講師を依頼し、講演会活動を行い郷土についての勉強会を開催するなど、地域の発展にも多大な貢献をしている。
13	東京都 世田谷区	世田谷地域デビューの会	9	区が実施した「地域デビュー体験講座」の卒業生により結成された団体で、定年後に地域活動を始めたいと考える高齢者向けに、なんでも相談や情報交換を積極的に行ってきた。近年では新たな交流の場やWeb上での情報交換ツールを提供するため、Zoomによる「シニアZoomサロン」を立ち上げるなど、活動の幅を広げ、「シニアの地域活動への第一歩」を踏み出す後押しに貢献している。
14	東京都 稲城市	5000歩の会	5	総世帯数845世帯の団地「若葉台ワルツの社」に住む概ね85歳以上の高齢者が、地域内にある小・中学校の下校時間に合わせた約5,000歩の地域パトロールを行っている。 この活動により、児童の通学時の防犯パトロールと声かけによる見守り、コミュニケーション劇出、地域の安全、自身の体力の維持、円滑な人間関係の構築等が図られている。発足して17年目を迎えるが、これまでの延べ参加人数はこの3月で15,000人に達する。
15	神奈川県 横浜市の	特定非営利活動法人 かながわ子ども教室	9	シニア世代が知識と経験を生かして「理科好きの子どもを育てる」「子どもの健全な人格形成に寄与する」ことを目的として、小学生を対象に、科学・20教室、専らし・4教室を開催している。当初コミュニティセンター等を借りて開催していたが、その後小学校(正統授業・理科クラブ)、地区センター、児童相談所、放課後キッズクラブ、学童保育などに働きかけて活動範囲を拡げている。コロナ禍になって、対面での教室開催がままならぬ状況下において、Zoomでのオンライン教室を実施している。また厚生労働省等が主催する「ねんりんピック」では地方の開催県までかけたり、川崎市主催の「青少年フェスティバル」にも参加して活動している。

3/8

16	神奈川県 横浜須賀市	大津シーハイツ・サポートクラブ	6	市内大津地域で最初に見守り活動に取り組んだ住民有志の有償ボランティア団体で、高齢者・障害のある方・子育て中の方の暮らしの困りごとをサポートしている。活動エリアは、エレベーターがない団地で往來にお困りの方が多い地域である。階段の上り下りを助ける「階段助っ人隊」を発足しただけでなく、オリジナルのサポート器具を制作するなど、高齢者ならではの知恵を活かした活動を行っている。大津地域だけでなく近隣の地域団体のモデルにもなっており、高齢者の社会参加の促進に寄与している。
17	石川県 羽咋郡志賀町	西海海防会	4	地元出身作家の文学碑の清掃や桜並木の手入れなどの環境美化活動や、小・中学生の登下校の見守り活動に取り組むほか、定期的に一人暮らし高齢者を訪問し安否確認するなど、安心して暮らせる地域づくりに貢献している。また、公民館と共同で地域の運動会・敬老会を企画・実施したり、地域の行事に参加したりするなど、高齢者の孤立を防ぎ、住民同士で助け合い、支え合う地域づくりに取り組んでいる。
18	福井県 越前市	愉快な市民劇団 うちの婆っちゃん一団	6	県内各地を巡り、子どもから高齢者まで幅広い年代の方に、日本の伝統衣装を自ら身にまとい、劇に参加することで楽しんでもらっている。喜劇を通じて笑い、楽しんでもらうことで、明るい地域づくりや地域福祉の向上に貢献している。また、劇団員自身も高齢者であるが、活動を通じて生きがいを感じ、充実したエイジレス・ライフを築いている。
19	長野県 松本市	子ども見守り隊	1	平成17年、当時の区長会へ波田小学校が要請し、「子ども見守り隊」が結成され、主に児童の見守り活動を実施していた。 その後、平成24年度に結成された「波田小学校応援団」に参加し、児童の登下校の見守りや電車通学児童の乗車指導のほか、中学生のあいさつ運動や小学校PTA作業に合わせたつつしの剪定作業等に協力している。特に地区内は、交通量の多い国道158号線が通学路となっており、小学1年生の初登校から1週間、下校時の付き添いによる見守り・交通安全指導活動は子どもから信頼されるとともに、保護者から大変感謝されている。 見守り隊は、学校応援団活動だけでなく、地域のまちづくり協議会を通してまちづくりに貢献しており、その姿は地域の模範となっている。
20	静岡県 御殿場市	遠城ボランティアの会 たんぽぽ	6	御殿場市社会福祉協議会に車椅子用リフト付き軽自動車が高齢者から寄贈されたことから、「遠城ボランティア入門講座」が開催され、修了した方々の中からボランティアに志のある仲間が結成されたグループである。介護を必要とする高齢者や、障害のある方の外出を支援することを目的に、福祉車両の貸し出しと、遠城ボランティアの派遣を始めて18年になる。 活動内容としては、利用者から電話で選定の依頼を受け、協力者の都合を調整し、病院などの送迎に出向いている。遠い所では県外の病院へ送迎をしたこともある。 また、毎月1回の定例会で問題などを討議し、より良い活動ができるように努めている。ボランティアは「仕事ではなく、義務でもなく、自分が望んでいる事」という志を持って活動している。

4/8